



# 新 生

第 48 巻 号  
冬 新 生 会 広 報

われあたら ころろ なんぢら たま あたら たましひ なんぢ うち きづ なんぢら にく いし  
我新しき心を汝等に賜ひ新しき靈魂を汝らの表に賦け汝等の肉より石の  
ころろ のぞ にく ころろ なんぢ あた  
心を除きて肉の心を汝らに與える。

-エゼキエル書 第36章 26節-

*A new heart also will I give you, and a new spirit will I put within you: and I will take away the stony heart out of your flesh, and I will give you an heart of flesh.*

-EZEKIEL 36:26-

## 母の笑顔

神野直彦

静かに寝入る母の手をそっと握ると、母は目覚めて「直彦」と嬉しそうに微笑む。私は幼き頃、この優しき母の笑顔に、早く会いたくて家路を急いだものである。しかし、いくつになっても、母は母である。老いてもなお、母の柔らかな笑顔は、私の生きる希望となっている。

ただ子供のためだけに生きた母の世話をすることは、私にとっても妻にとっても、生き甲斐であり、喜びであった。ところが、母が骨折をし、車椅子生活を余儀なくされると、母の世話を施設にお願いするしかなかったってしまった。

高齢者にとって、寒き冬は大敵である。母は冬の扉が開くたびに、尿路感染症を患う。二年前の十二月には、母の症状が重くなり、母は食物を口にすることができなくなってしまう、点滴で生命を繋ぐ状態に陥ってしまった。

しかも、これ以上、点滴を続けても意味がないという事態にまで追い込まれ、点滴を外してもらったことにした。つまり、母の生命を、母自身の生きる意欲と意志に委ねたのである。

母が天に旅立って逝くことを覚悟した私は、最後の別離の時に果物を持参することにした。母は無類の果

物好きである。果物だけで生きてきたといってよいほどの食生活をしてきた。口にすることができなくとも、母は果物をみると、笑顔を取り戻してくれるかも知れないと、願ったからでもある。

母は持参した果物に目を輝かせた。私がフォークで口元にもっていくと、満面の笑みを浮かべて頬張ってくれた。しかも、果物をすべて平らげてしまったのである。

果物を食したことが呼び水効果となって、その時以来、母は食事がとれるようになった。食欲が落ちても、私が果物を食べさせると、母は食欲を取り戻す。こうして母は、二年以上も生き長らえ、遂に百歳を越えたのである。

人間が「生」の時を刻めるのは、生命を共にする、愛する者が存在するからである。

### 神野直彦

一九六九年東京大学経済学部卒業。東京大学大学院経済学部研究科博士課程単位取得退学。東京大学経済学部教授、東京大学経済学部長、日本社会事業大学学長を経て、現在、東京大学名誉教授。二〇〇九年紫綬褒章、二〇二五年瑞宝中綬章受章。



許すもの  
 憎まれても  
 憎みかえすな  
 果たして罪すべきものならば  
 自然の罪が課せられる  
 どうされても  
 愛をもってわが道をゆけ  
 憎むものは  
 自ら苦しみ  
 許すものは  
 心常に平らかなり

後藤静香著  
 「天よりの声」より



原 慶子

特定技能外国人採用プロジェクト

全国的な人材不足が大きな社会問題になっていきます。特にインターネットやロボットに代替できない、人間相手の仕事では、現場で働く人への負担が強化されています。コロナパンデミックの最中は、本当に深刻でした。新生会もその例外にもれず、

しかしスタッフの、居住者が安心して生活することへの熱情と緊密なチームワークによって乗り切ってきました。日本においても外国人雇用が一般化してきていますが、新生会においては、その制度を利用することはありませんでした。昨今、経済のグローバル化は進化しており、

一方インターナショナルリレーションシップも日常的になってきました。そこで新生会もついに「特定技能外国人採用プロジェクト」を結成いたしました。二六年八月から九人の外国人人材を採用することになりました。新生会が協力をお願いしたのは「株式会社ミヤマリンク」（代表取締役・天田広）です。「特定技能・介護職に特化した外国人材紹介業」が、この会社の専門になります。天田氏

は、フィリピンに本社を置く [ICHIGOCHIE CONSULTING INC.] (一期一会コンサルティング INC.) の三浦一生氏(外国人実習雇用士&「入門、やさしい日本語」認定講師)と連携しフィリピンからの人材採用を企画しております。日本で働くことを希望している人材は、日本での介護福祉を学び、ゆくゆくは介護福祉士を取得することも希望しています。

かつて新生会にはボランティアとして、モンゴルやドイツの看護師や学生が滞在していたことがあります。新生会としては、人材不足を補充するという物理的必要性に特化せず、期待と自分自身の成長を目標にして訪れる実習生が、張り合いをもって働けるよう、配慮と心使いをもって迎えたいと思います。

二一世紀を迎えた世界の状況は、新自由主義経済に支配され、国も個々の人間も著しく、富裕と貧困の格差が生じています。そのような世界環境を是正していくためにも、地球市民一人一人が、各々が属する「場」で、他者のために良かれという仕事をし、人間関係もエゴイズムではなく他者への思いやりを大切にしていきたい。新生会も「特定技能外国人採用プロジェクト」を通して、社会貢献をして行きましょう。

令和七年、八月二〇日に新生会でお話をさせていただきました。

新幹線の安中榛名駅から車でご案内いただき、木立ちのなかの静かな会場ホールをまず下見しました。明るい光あふれるホールは、音がよく響きます。絵画も飾られて美術館のようでもあり、とても気持ちが安らぐ空間です。

色々な所でこれまで講演をしましたが、こんなに素晴らしい会場ははじめてで感動しました。

半年以上も前から今日の講演の準備をしていた、いた櫻井さんに聖堂も案内してもらい、この場所全体が祈りの空間であることを実感しました。

昼食をいただき、会場に入ると多くの皆さんの拍手をむかえられ、さあ、思いきり喋ろうと心が高鳴りました。

演題は、内村鑑三の非戦論です。正直いって難しい話です。内村鑑三は明治維新の少し前に江戸で生まれましたが、出身は上州です。つまりこの群馬の地ですから、皆さんもその名は知っておられる。上毛カルタでは、「心の灯台」です。なんとびつたりな言葉か。明治の新しい時代、大きな希望とそして苦難が待ちうける日本人に、まさしく灯台の光となつた人です。

しかし、内村鑑三は偉人ではありません。偉大なという言葉とも違う。それは彼自身が自分をつねに「罪人」であることを知っていたからです。「罪人」といつても何か犯罪をおかした、悪い事をしたというのではもちろんありません。北海道の札幌農学校においてキリスト教と出会い、神の洗礼を受けた内村は、神の前にあつては全ての人間は「罪人」である他はない、ということを知ったからです。そして「罪人」であるかぎりには、神を信じること、人

なことである。そう考えました。しかしやがて第一次世界大戦の惨状を知って、人間の力では、人間の理智によつて戦争は止むことがないと確信します。全世界の人間と、あらゆる被造物が、イエス・キリストがもう一度、この地上に再臨され、その時に一切の罪と死が取りのぞかれ、永遠の生命と平和が明確に実現する。聖書が預言するところの終末の 때가到来するまで、人間は戦いを止めることができない。そう考えます。その時を祈りつつ待つ。それが大

た。終りの日を待つとは決して消極的な態度ではなく、英語でエンドとは目標という意味もある。目標に向かうことで、今ここで人としてやるべきこと、行為することが大事となる。人間は無力だ、戦争は止むことがないと絶望することはだから許されません。信仰は二ヒリズムを超えます。内村の非戦論とは、つまりヒューマニズムをこえるところから出てくるのです。人間中心の近代的な思考を一度徹底的に打ちこわすところから出発するのです。人間は「罪人」であるという自覚の原点から、真の平和と救済を求め、祈るパッションであり行動なのです。

## 壇 論

### 内村鑑三の祈り

関東学院大学教授 富岡 幸一郎

間をこえた大いなる存在を仰ぐことによつて、救いを求めざるをえない。

だから内村の生涯は、その「罪人」として、イエス・キリストを「仰ぐこと」、キリストと「偕に」在ること、ただそのことに拠る、この世とのたたかいでした。日本人が戦争に突入していくときにも、彼は戦争絶対反対論を主張しました。はじめは人間が理性的に考えれば、人を殺し他国を奪うことなど間違いであり、悪であることは明らかです。戦争は愚か

切であり、その祈りは決して無力ではないことを内村は強く主張するのです。人間の力や能力はたしかに神に与えられたものであるが、人間はその力や能力を、自分の所有物であり勝手に使っていると思ひ込んでいます。自由の取り違えです。これこそが「罪」なのです。

内村は大正時代にこのキリストの再臨信仰を全国に宣教して歩きます。キリスト教界だけでなく、仏教や他の宗教の人々にも語りかけまし

会場の皆さんは、私の話を真剣に聞いてくださいました。心からの感謝です。ただ残念なことに、多くの方から質問を受けたかったのですが、帰りの新幹線の時間が迫ってきてしまいました。またぜひもつと色々とお話できればと思っています。

帰りも櫻井さんが車で安中榛名の駅まで送ってくれました。車中で時間が心配で：とハラハラしましたと語つてお互いに笑いました。駅で皆さま号をホームで待ちながら、私は充実した一日に感謝しました。会場の皆さんのお一人お一人の顔を思い浮かべながら。

特集

『文化としての福祉』から『福祉の芸術化』  
預言・幻・夢

『神は言われる。終わりの時に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたたちの息子と娘は預言し、若者は幻を見、老人は夢を見る。わたしの僕やはしたためにも、そのときには、わたしの霊を注ぐ。すると、彼らは預言する。』

(使徒言行録2章17〜18節)

“And in the last days it shall be, God declares, that I will pour out my Spirit on all flesh, and your sons and your daughters shall prophesy, and your young men shall see visions, and your old men shall dream dreams; even on my male servants and female servants in those days I will pour out my Spirit, and they shall prophesy. (Acts2/17 ~ 18)

原 慶子

装いのある暮らし

ジョージが丘三ホーム(一九八八年六月竣工)を建設する時の哲学(建設理念)は、『文化としての福祉の創造』でした。ジョージが丘三ホームの建築家・原公朗師は「建築の基本は哲学である。従ってジョージが丘三ホームの建設にも理念を明確にしなさい。そうすれば魂の入った建築が実現する。」と言いました。かねがね、機能と予算だけの建築に不満を持っていた私“は、この言葉を聞いて感動し、『文化としての福祉の創造』を、ジョージが丘三ホームの建築哲学にすると明言しました。当時

かねばならないが、そのときもつともふさわしいキーワードであろう。著者が伝統的な社会福祉に新しい息吹きを吹き込んでくれることを期待している。(花園大学教授 森幹郎)

(2) 物質と精神のバランスのとれた福祉へ

もはや経済的な貧しさだけを念頭においた社会福祉の時代はおわっているのだ。二一世紀の社会福祉は、いかにして物質と精神のバランスのとれた豊かな文化を創造するかということである。そしてソーシャル・ワーカーの仕事の目標は「精神文化を高め、装いのある暮らしを創出していくことだ」。この著者の主張はジョージが丘のホームの建設という実践に裏づけられた重みをもって響いてくる。社会福祉の領域ばかりでなく、二一世紀高齢社会を共にする日本の全ての人々に一読してもらいたい本である。(慶応義塾大学教授 山本和郎)

「装いのある暮らし・文化としての福祉の創造」を出版してから早くも三六年の歳月がたちました。この三六年の間に二一世紀を迎えすでに五年が経過しました。しかし「文化としての福祉」という理念は、真に社会に定着したと言えるでしょうか？ 森先生も山本先生も、物質と精神のバランスを説き、精神文化を高めることの重要性を期待していましたが、現実には、精神文化は育まれず、物質主義が正当化され、私たちの精神までも金銭至上主義に侵食されています。この三六年間、新生会は「文

化としての福祉」をさらに「福祉の芸術化」へと深化させ、コロナパンデミックの間も、経済性、社会性、精神性において「芸術性」を貫きました。

「芸術性」とは「美しく」を根幹に据えること

美しい建築、美しい住環境、クリエイティブな精神性、美しい人間関係を育んでいくことが、私“の、新生会のヴィジョンであり、目標なのです。『美』を創り出すのは、芸術です。芸術の根幹には「美への愛」があります。私は、何人かの親しくしている画家や彫刻家、また書家、工芸家などがおりますが、彼らに共通しているのは、彼らの特技を美しく、「形」にしてゆきたい(行こう)という情熱を強くもち、さらには類まれなる忍耐力と辛抱強さです。魂に閃いた着想を、形にするためには、「急ぐことと待つこと」が同時に備わっていないければなりません。「福祉の仕事」「ソーシャルワーク」「ケアワーク」も芸術家のように、『美』を愛し、それを社会生活のなかに形にしていることとする情熱が必要なのです。その源泉になるのは、神が人間に賜った『霊』なのです。「霊」を注がれた者は「預言」し、若者は「幻」を見、老人は「夢」を見るのです。幻と夢をもって前進し、預言(ヴィジョン)を、「形」にしていくことが、創造的に美しく仕事をすることであると思えます。



### 「知ってもらおう介護の仕事」 榛名中学校訪問

一月一八日、群馬県老人福祉施設協議会で強化推進している『知ってもらおう介護の仕事』の事業のため、榛名中学校を訪問しました。一年生一一名の生徒さんが体育館に集合、先生達のご協力もいただき、介護の仕事を紹介するDVD視聴等もスムーズに行うことが出来ました。

今回は軽費老人ホームのバルナバ館が担当でしたが、車いすの使い方についてはエンジェルホームの吉川園長が担当、無事終了しました。生徒さん達は、いつ伺ってもしっかりと挨拶ができること、車いす体験ではより生き生きとした表情を見せて下さり、逆にパワーを頂きました。高齢化社会を担う若者が一人でも増えることを願ってやみません。



### 玉川聖学院 キャロリング

二〇二五年一月二五日・二六日と、恒例の玉川聖学院によるキャロリング訪問が行われました。

三二名の生徒と一五人の引率教員が、新生会内各施設を訪問しクリスマス之歌を歌ってくださいました。

二五日は各施設でキャロリングを行い、二六日は各施設の居室を訪問ボランティアを行いました。

この訪問を毎年楽しみにされている居住者の方々と、一緒にクリスマスソングを歌ったりと、とても素晴らしいキャロリング訪問でした。



### 合同慰霊祭

一月一四日、新生会の合同慰霊祭が榛名聖公会を会場に開催されました。

毎年、一月に行われる慰霊祭はご遺族の方々にご参集いただき、ご逝去された方々、新生会霊廟に安置されている方々などのお名前を一人ひとり読み上げ、職員一同心をつくして執り行う大切な法人行事です。

昼食の後には高崎市八幡霊園に移動して納骨式を行い、霊廟に眠る方々の魂の平安をお祈りしました。

新生会は、「最後までお世話させていただく」との心の誓いを胸に、その方が去った後も年に三回（合同慰霊祭・春の墓参会・秋の墓参会）の霊廟へのお参りを欠かすことなく、ご縁を大切にして事業を行っております。



### 新生会祭

二〇二五年一月三日（祝）、毎年恒例の「新生会まつり」が開催されました。当日は概ね天候に恵まれました。当日は折小雨に見舞われましたが、来場された皆さまは変わらず祭りを存分に楽しんでおられました。

毎年多くの方で賑わうバザー会場や家具・家電売り場も今年は大盛況で、並べた商品はあっという間に完売となりました。

また、新生会調理スタッフが腕を振るった軽食コーナーも好評で、とくに「から揚げが美味しかった」とのお声を多くいただきました。

毎年バザー等に商品をご寄付くださる皆さまに心より御礼申し上げます。また、当日ご来場くださいます皆さまにも深く感謝申し上げます。来年も宜しくお願いいたします。



# リースづくり

”有志“の輪を広げて

アドベント（クリスマスを迎えるための準備の時期）に入り一月二十九日（土）心泉の家では居住者・職員が、リースづくりを楽しみました。

その直前二日間で、昨年結成した強力な協力ボランティアの方（有志）に新たなメンバーも加わって、五〇個を超えるリースが瞬く間に完成しました。

保全課の協力のもと会場設営、資材準備がされ、鳥川森林組合によるスギ葉提供もあり皆さまのご支援に感謝いたします。

おかげさまで今年も教会や新生会の各施設に素敵なリースが飾られました。



見事な飾りつけ

準備万端の土台作り



素敵なリース続々と

抜群の連携作業

# ふれあい花壇

パンジー植え付け隊

一月一〇日、高崎市緑化運動推進委員会の助成を受け、県道沿い花壇の植え替え作業が行われました。

当日の朝、松田農園さんから、新鮮なパンジー苗四四〇鉢が届きました。今年の夏も暑さが厳しく、栽培には大変なご苦労があったそうですが、どれも生き生きと立派に育っていました。

今回の植え付け隊は、何度も参加してくださっているベテラン居住者さん四名と職員五名でした。春から植わっていたマリーゴールドは、酷暑の影響を受け、例年より早く枯れてしまいました。それを保全係が事前に片付け肥料を入れ、マルチを張って整地されたところへ苗を植えました。赤、白、黄、紫と色別に皆さん手際良く作業して、一時間ほどで無事に終了しました。



# 新潟大学研修

一〇月二一日〜二三日にかけて、

「早期医療体験実習」として、新潟大学より医学部二年生の学生さん六名が、ジョージが丘三ホームで実習されました。各施設にて居住者の方々とのコミュニケーションを通して、人と人とのつながりを意識し、ケアの本質とは何か感じ取っていただけではないかと思えます。

二日目には、新生会診療所の伊藤義彦医師が、「高齢者の医学〜終末期医療を軸に〜」と題して、新生会での勤務経験から、分かりやすく終末期医療と介護施設の実態についてレクチャーを行いました。

三日間という短い期間でしたが、新潟大学の学生さんとかかわりを持てたことは我々にとって貴重な経験でした。実習された皆さんの心に、「支え合い・育み合い・分かち合う」精神が培われていますように。



# 介護の仕事フェア

【介護の日・福祉の仕事フェア】

前橋市総合福祉会館で行われた群馬県社会福祉協議会主催の「介護の日・福祉の仕事フェア」にて、基調講演として誠の園の実践報告を行いました。当日は学生さんや福祉事業所の職員だけでなく、一般参加も含め、会場には百名近い方々が聴講されていました。

新生会としてのケアへのこだわりや幅広い福祉機器の活用方法など、誠の園でのケア実践について事例を交えて紹介させていただきました。講演後は聴講されていた方々からたくさん質問を受け、意見交換を行いながら実際に移乗リフトの体験もしていただき、有意義な交流の機会をいただきました。



# ホームアクト

介護付有料老人ホーム  
新生の園

秋のお出かけ「バスハイク」

夏の酷暑が過ぎ去り、ようやく過ごしやすくなってきた秋の初め。新生の園では一〇月二二日に秋のバスハイクに出かけてきました。

道中色づき始めた木々を眺めながらバスに揺られること一時間。まず初めにやってきたのは赤城山麓にある「福豚の里とんとん広場」です。

名前の通り豚肉が有名なお店で、分厚いとんかつやポークステーキを口いっぱいかみ締めました。あまりのボリュームに「お腹いっぱい！」「ごちそうが食べられて嬉しい！」との声がたくさん聞こえました。



美味しいランチにニッコリ笑顔

腹ごしらえを終えた後は次の目的地、一〇月一〇日に二年のリニューアル期間を経てオープンしたばかりの群馬フラワーパークプラスにやってきました。秋の季節はケイトウや

マリーゴールド、秋バラといった花がきれいに咲いていました。普段見られない花の数々に「きれい」「美しい」等皆様楽しそうに眺めていました。また、パーク中央にある展望台のツインタワーからパーク内を一望でき、あいにくの曇り空でしたが「すごい景色ですね」と喜ばれておりました。別の季節では違う花が見られるとの事で「春にも来てみたい」との意見もありました。最後はお土産を買って園へと戻りました。



展望タワーから見渡す景色

普段遠出をすることが少ないので疲れもありましたが、皆様から「楽しかったよ」との言葉をいただけました。短い時間でしたが、素敵な思い出ができました。

(竹内麻由葉)

# 健康型有料老人ホーム マリア館

世話を掛けずに煩わしい監督なしにこれは、入居される方の「自分らしく生きる力」を何よりも大切にしたいという私たちの想いです。

自分のことは自分で、無理のない範囲で続けていきたい。誰かに細かく見張られたり、過度に手助けされるのではなく、自然体のまま暮らしを続けたい。

そんな入居者の皆さまの想いに寄り添い、「自分の暮らし」を安心して続けられる環境を整えています。そして、もし体調や気持ちの変化があったときには、必要な場面ですぐに手を差し伸べられるよう、私たちはそっと支える存在であり続けます。

『自由と安心が共にある暮らし。』それが、梅香ハイツの理念に込めた願いです。

ここでお知らせです。  
健康型有料老人ホーム「梅香ハイツマリア館」の紹介動画が完成しましたので、ご案内いたします。

YouTube

「Wikiの森」シリーズ Episode 3 です。

ご覧いただければ幸いです。  
このシリーズは、有料老人ホームの

紹介を目的としたものです。  
施設に興味を持ってくださる方がいらっしやいましたら、ぜひご紹介ください。  
(原 孝洋)



マリア館近景

RESIDENTIAL CARE

wikiの森  
forest of wiki

チャンネル登録はこちらから

介護付有料老人ホーム  
穩和の園・桜の園

秋のバスハイク

秋晴れの心地よい日、皆様お待ちかねのバスハイクで、道の駅「まえばし赤城」へ行ってまいりました。車窓から眺める景色は少しずつ秋めいて、会話も弾みます。

道の駅に到着すると、皆様は広い施設をゆっくりと散策されました。地元の新鮮な野菜や果物が並ぶ活気ある直売所では、「これは美味しそうですね」「あの方へのお土産に」と、熱心に品定めをされる姿が見られました。

鮮魚コーナーも充実。握りにお好み海鮮丼など見ているだけでお腹がすいてきます。昼食は各自お好きなものを選んでフードコートで召し上がります。地元の食材を活かした美味しいメニューに舌鼓を打ち、皆様の笑顔があふれる楽しいひとときとなりました。



これからお買い物♪

きつねの嫁入り

新生会祭では箕郷地域を代表するイベント「きつねの嫁入り」が行われますが、今年のハイライト。なんと職員が本格的な狐の花嫁に扮して登場です。白塗りの狐の化粧と、艶やかな和装で現れると、居住者からは「これは誰だろう?」「綺麗だね!」と驚きと歓声が上がります。身近な職員の素晴らしい変身ぶりに、皆様の表情は笑顔でいっぱい。お祝いの拍手が鳴り響き、イベントを心から楽しめました。(中澤一夫)



お嫁さんと一緒



みんなで狐ポーズ

介護付有料老人ホーム  
恵 泉 園

お茶友の会

お茶を楽しむという文化は世界に様々な形があります。日本における茶道は室町時代に日本独自の美意識として千利休が完成させ、質素・簡素の中に深い美を見いだす思想として現代まで影響を与えています。特に「一期一会」という二度と訪れないかけがえのない大切な時として受け止める考え方は人生の本質を表現しています。英国ではアフタヌーンティーという一九世紀に生まれたお茶の習慣があります。昼食と夕食の間に、紅茶と軽食で心身を整える社交の時間として広まりました。お茶を楽しむながら日常に「間」をつくるゆとり、会話や礼節を大切に、時間そのものを味わう文化となっています。

カルチャーホーム恵泉園では「お茶友の会」という居住者にとって、



温かな空間に思わず  
ゆっくりしちゃいました



日没までどうもお邪魔しました

何よりの楽しみである外出とお茶を楽しむプログラムがあります。今年十一月二一日、安中市板鼻にある、月に三日しか営業しない、ご夫婦二人で切り盛りしている小さなカフェ「すず cafe」で「お茶友の会」を実施いたしました。希望者一五名と職員三人で、専門店で修業された店主、鈴木さんの淹れる味わい深いコーヒーと奥さんの用意されたおいしいアップルケーキなどをいただきながら楽しいひと時を過ごしました。誠実なご夫妻のおもてなし、ことに奥様は看護師の資格を持ち老人施設でも働いた経験をお持ちの方で誠に恵泉園「お茶友の会」にうってつけのカフェでのひと時となりました。

(杉山修二)

軽費老人ホーム  
バルナバ館

第三回 秋の芸術発表会 開催

コロナ禍から奮起して始まった芸術発表会。一月二六日居住者の皆様のご協力により第三回目を開催することが、出来きました。感謝！

魂に響くトーンチャイムの演奏(いつくしみ深き他)を皮切りに、町田孝子様(心温まる朗読(一二支のはじまり他)、岩井溢子様・湯浅茂子様の清らかな二重唱(希望のささやき)、ヒマナスターズの素敵な演奏(もみじ、ワインレッドの心他)、有志による盆踊り風ダンシングヒーロー、岩井様の独唱(からたちの花)。最後は岩井様のリードで「故郷の空」「里の秋」を皆様で合唱。皆で創った時間は心地よく、楽しさと清々しさを感じる時間でした。



これから本番です。ファイト!!

(山崎祐子)

クリスマス音楽鑑賞会

今年もクリスマス音楽鑑賞会が開催されました。山田直司様選曲の「讃美歌21」を音楽鑑賞し、お茶休憩で

ショートケーキと紅茶を召し上がって頂きました。その後はビンゴゲーム大会です。鈴木所長サンタクロースと一倉さんトナカイがプレゼントをもって会場に来てくれました。

会の最後は小野きよみ様のオルガン伴奏で「きよしこの夜」を参加者全員で歌いました。今年も皆様と一緒にクリスマスの楽しいひとときを過ごせたことに感謝しています。

現在バルナバ館のロビーにはクリスマスツリーやリースなどが飾ってあります。使用されている「柵」には魔除けの意味もあるそうで、バルナバ館が幸せな場所であるよう守ってくれています。

(松田千賀)



クリスマスツリーとともに

軽費老人ホームA型  
榛名春光園

秋のバスハイク

猿ヶ京温泉まんてん星の湯へ紅葉が一段と色を増す時季に、総勢一八名で榛名春光園を出発です。

車窓から見える空は鈍色でしたが、一行は高鳴る気持ちが顔に出していました。車内では「あの山は赤城山」「こつちが榛名山」「あの雪化粧した山は谷川岳だね」と彼方此方から車窓の風景を楽しむ会話が聞こえ、和気あいあいとなっていました。

日帰り温泉まんてん星の湯に着き、二階の大広間に案内されると、赤谷湖と山紅葉の眺望が望め、思わず写真を撮りました。



真っ赤な紅葉

一休み後は源泉掛け流しの大浴場へ、男湯も女湯も居住者と職員が一緒に温泉での裸の付き合いとなり、

親睦を深めました。温泉の効能どおり、体の芯から温まりばかばか、お肌もすべすべになり美人の湯を堪能しました。

昼食後は、同じ敷地内の劇場でんでん座三国館での大衆演劇の公演を観劇しました。中村鷹丸劇団の、笑いあり涙ありの人情芝居や、艶やかな舞踊の歌謡ショーを、各々が好きな座席で楽しみました。

帰りは薄暮時間帯となりましたが、今回も保全職員の安全運転の御蔭で、秋のバスハイクを満喫させていただきました。

(下野弘江)



鷹丸一座と記念撮影

特別養護老人ホーム  
榛名憩の園

「立教女学院藤の会来園」

毎年お世話になっております。立教女学院、保護者会の藤の会の皆様  
が令和七年一月一日に来園して  
くださいました。今年は華やかなべ  
ッドカバーとエプロンを頂きました。  
ご利用なさる居住者の皆様はき  
つと心温まる事でしょう。

又、かつて共にお仕事をされてい  
た英様は久しぶりの再会に、大変喜  
ばれていました。この奉仕活動も四  
〇年を超える伝統行事だそうです。  
立教女学院は保護者会のほか、夏に  
はご子様が、ワークキャンプに参加  
と交流を深めて参りました。互いに  
共鳴し合うものがあり、大変有意義  
な活動だと改めて感じました。

(下平友規)



藤の会の皆様と記念撮影

「お茶会イベント」

憩の園三階では、令和七年一〇月  
一九日に「喫茶いこい」というお茶  
会イベントを開催しました。当日は  
ほとんどの居住者が、中央ステーシ  
ョンに集り行いました。好みのお飲  
み物やお菓子などを食べながら、「お  
いしい。」「こんなイベントやってく  
れるのは嬉しいよ。」と笑顔で話さ  
れ、普段では見られない言葉や表情  
等見せてくださいました。また、他  
の階の居住者も参加してください、  
顔を合わせる機会の少ない居住者同  
士が自然と会話を交わす場面や、顔  
馴染のある方々が嬉しそうに交流し  
ている場面を多く見ることができま  
した。今回、おいしい物を楽しむ場  
だけでなく、階を超えた交流が生ま  
れ、居住者にとってとても心温まる  
時間となりました。

(神林寿良)



楽しいお茶会

特別養護老人ホーム  
誠の園

『下野国道中膝栗毛』

流石に歩きでは行きませんでした  
が、今回の旅先は栃木県足利市。参  
加者は九一歳から一〇〇歳までの元  
若者達。さあさあ、珍道中のはじま  
りです。

『あたしは勉強がしたいんだ』そ  
の一言で向かった先は日本最古の大  
学「足利学校」。どんな学校なのか  
知らない方も多いのではないでしょ  
うか。どうぞ自分で調べてください。  
さて、元若者達は美味しい食事も  
勉強ということで海なし県で豪華海  
鮮丼をペロリ。一〇〇歳は『いいで  
すか？』と、宮本武蔵を彷彿とさせ  
る箸さばきで唐揚げもじっくり食べ  
ていました。

『元気ねえ〜』

何歳になっても勉強したいという  
気持ち若さの秘訣かな。毎度明る  
く元気な誠の園でした。

(小野沢剛昌)



弥次さん喜多さん!?

【クリスマス会】

今年のクリスマス祝会も、心温ま  
るひとときを過ごせるよう楽しい企  
画を揃えました。まずは色とりどりの  
スイーツが並ぶデザートビュッフ  
エ。ケーキやプリン、手作りスイー  
ツを自由に選び会場は大盛況。

甘い時間を楽しんだ後は、恒例の  
ビンゴ大会！数字が呼ばれるたびに  
歓声やため息が飛び交います。景品  
には思わず笑顔になるユニークなも  
のから、ちよつと豪華な品まで勢ぞ  
ろい。会場全体が一体となって盛り  
上がり、当選の喜びをみんなに分か  
ち合います。そして最後は歌の時間。  
クリスマスソングをみんなで声を合  
わせて歌い、心をひとつにしてこの  
季節を祝います。笑顔と歓声に包ま  
れた会が、皆さまの思い出に残る特  
別なクリスマスとなりました。

(佐野仁久)



商品ゲットでニッコリ！

### 特別養護老人ホーム エンジェルホーム

待ちに待ったクリスマス！

一二月のエンジェルホームはクリスマス一色に彩られ、心揺さぶられる気分にかけてくれます。天井には雪の結晶、さらにケアワーカー自作の煙突付きの暖炉もあり、居住者の方々も興味をそそられていらっしやるのか、じーっと眺める様子をよくお見かけします。

そして、あつという間にクリスマス祝会当日を迎えました。

初めにクリスマスケーキが机に並べられ、園長と居住者の方一人代表として乾杯の挨拶からはじまりました。次にサンタの姿をしたケアワーカー達からのプレゼント配り！プレゼントを見ると、それぞれ居住者の方々の生活習慣などの特徴をふまえて選ばれているんだなあと、とても勉強になりました。最後に五分ほどお時間いただき、余興を行いました。



今年のデザートは2種類！



みおコンサート開演！

演奏を信澤ケアワーカー、ボーカ

ルはなんと私、澁澤が務めさせていただきますました。緊張の中、手拍子をする方や真剣に聴いてくださる方もいらっしやり、楽しんで歌うことができました！歌い終えた後はアンコールがあったので、そのまま『あわてんぼうのサンタクロース』を歌い、クリスマス祝会を盛り上げてくださった居住者の方々や参加された職員の方々に感謝の言葉を述べ、締め言葉とさせていただきます。

実は今年のクリスマス祝会のプログラムは、私が担当させていただきました。限られた時間でどれだけ居住者の方々の心に残る思い出となるかを考え、また私も日々元気をもらっているの、その感謝の気持ちを自分なりに伝える意味でも今回余興に挑戦させていただきました。今年のクリスマス祝会が居住者の方々の楽しい思い出になっていることを願っております。  
(澁澤滯)

### HALC自然学校

一月のお出かけ自然体験

隔月実施の「はるな自然体験クラブ」お出かけ自然体験、一月二日と二八日の同一コース二班制で午前は群馬県と長野県の県境に位置する上野村、午後は埼玉県が隣接する神流町・藤岡市へ向かいました。

両日ともに晴天、日中の最高気温は一五℃を超えて、風も無く穏やかな秋晴れのドライブを楽しみました。

午前中は、四〇年前の日航機墜落事故で昇天された方々の平安を祈る慰霊の園へ。資料館で展示室と当時を振り返るビデオを鑑賞しました。



御巢鷹の尾根に通じる慰霊塔前



恐竜センター茂木さんの解説

道の駅うえので昼食を済ませて、午後は神流町恐竜センターへ。約一億三千万年前の地層から「恐竜の足跡化石」が発見されたことなど現地職員の茂木さんのご案内で本館と別館を見学しました。

（稲垣仁）



咲き始めの冬桜のもと散策



紅葉の桜山公園日本庭園にて

居宅介護支援事業所  
フィリアいこい

「施設体験会」

私達ケアマネジャーの仕事の中でも要になってくる事の一つにケアプラン作成があります。

ご本人、ご家族にアセスメントを行い、その方に必要なサービスを提案しケアプランを作成しますが、サービス利用と言っても多種多様なサービスがあり、事業所も様々な特徴を持つている所があります。ケアマネジャーは公正中立な立場でのサービス提案を求められていますので、何処にどんなサービス事業所があり、何を特徴としているのか知らなければ紹介できないので常に情報収集をしなければなりません。

各サービス事業所も自分達の事業所をケアマネジャーに知ってもらいたいと施設体験会を実施している所もあります。そのような機会に参加させて頂き視野を広く持つようになっています。

昨年は、ショートステイ施設の見学会に参加し、実際の部屋や浴室等見学し、利用者と同じ食事も頂きました。

今回は下里見町にある住宅型有料老人ホームとデイサービスの見学と体験をさせて頂きました。介護整体

とタブレットを使用した脳トレや歩行バランス等を測定させて頂き、実際どのような内容で利用されているのかを知ることができてとても良い機会となりました。

通所介護等ご利用前には見学やお試し利用を経て利用先を決めていただく事が多いですが、パンフレットだけではすべてを知るのは難しい為、実際に事業所を訪問させて頂き、雰囲気を知り利用者へ伝える事はケアマネジャーにとって大事な事ですので、今後も見学会や体験等あれば参加をして、良いケアマネジメント業務が行えるように勉強していきたいと思えます。  
(原聖子)



介護整体、気持ち良い



意外と難しい！

ウエルカムセンター

一二月の食堂

ウエルカムセンターの食堂は、入居者の皆さまが自然と集まり、穏やかに過ごせる温かな場所です。大きな窓からは冬の澄んだ光が差し込み、夜には外のイルミネーションが静かに揺れて、食堂全体がやさしい雰囲気に包まれます。テーブルの上にはクリスマスサイズの小さな飾りが置かれ、赤や緑を基調にしたクリスマスのアレンジが食事時間をより華やかに彩ります。



クリスマスの折り紙



イルミネーション

栄養バランスに配慮した家庭的な料理は、寒い季節にほっと心を温める味わいです。居住者の皆さんからは、「ここで食べると元気が出る」との言葉を頂きます。スタッフは食事の様子をさりげなく見守り、無理のない形で健康と生活リズムを支えています。十二月のクリスマス特別メニュー、そして飾りつけが加わると、食堂には笑顔がいつそう広がります。食は毎日の活力であり、この場所でのひとときが入居者の皆さまにとって励みとなるよう、これから温かい食事と心のこもった時間を大切にしていきたいと思います。

(原孝洋)

# こかげ

## 新 生会 人 紹介

- ①出身地 ②職種 ③趣味・特技 ④好きな有名人 ⑤自分にとって一番の贅沢は ⑥好きな言葉

### 恵 泉 園

中島 千晶 (ナカジマ チアキ) 30



- ①群馬県高崎市
- ②ケアワーカー
- ③ポロっとすること、バスル
- ④ドコムス、荒井由実
- ⑤家でゆっくりと猫と遊ぶ
- ⑥栄枯盛衰

### ジヨージが丘食養課

原田 圭介 (ハラダ ケイスケ) 29



- ①群馬県高崎市 (旧榛名町)
- ②調理員
- ③旅行・ドライブ・食べ歩き
- ④志村けんさん
- ⑤少し高いお酒を飲む
- ⑥初心忘るべからず

## 睦会忘年会

毎年恒例、睦会忘年会が一二月五日グランビュー高崎にて開催されました。この日は九五名の参加者が豪華な食事に、舌鼓。料理もさること



踊りお疲れ様でした！



1等おめでとうございます！

ながら、役員・幹事達が業務の合間に一生懸命練習してきた踊りも披露。そして待っていました。メインイベントの大抽選会の始まりです。ずらりと並べられた景品に皆びっくり。なんと一等賞はあのニンテンドースイッチ2！どうやって手に入れたかは不明ですが…。

年明けにはボウリング大会。今年度の活動もあと少しとなりましたが、今後も魅力ある睦会を運営していきたいと思えます。参加して下さった会員の皆様ほか、練習・準備にたくさん時間を割いてくださった役員・幹事の皆様、本当に心より感謝申し上げます。



気合を入れます！



榛名憩の園 事務員兼介護支援専門員 桑原 彩菜さん

榛名憩の園、フロントの顔と  
言えば、桑原彩菜事務員兼介護  
支援専門員だ。今回は笑顔たっ  
ぷりで来園者をお出迎えする彼  
女を分析してみたいと思う。さ  
る令和七年七月三〇日、勤続一

五年表彰をいただいた彼女は写真写りに不満をもらした。見る限り、事あるごとに不満をもらしていると言っても過言ではない。それではと思ひ、今回はアニメ風に見てみた。本人もさぞ

## もうひとりの私 133

気に入ってくれる事だろう。彼女は仕事も育児も常に熱血である。時に考えすぎてオーバーヒートしそうな時も見受けられるが、必死に頑張っている姿が目に見える。コール対応は懇切丁寧。普段のしゃべり方とは一線を画す。熱血漢がありすぎて、同僚が容易に叱咤激励を受ける事も…。ある意味、ここまで率直に言われると、かえって気持ちがいい。家庭では二児の母。一直線に愛情を降り注ぐ母であり、息子がリングにシュートを決めた日には、感情を爆発させる二児に恋する会員番号第一号のファンでもあるようだ。

これからも公私ともに活躍してくれよう。



・島田 輝歩  
(しまだ きほ) ちゃん  
令和7年10月8日生まれ  
(法人本部 総務部  
島田春菜さん 第1子)

# このひと



榛名春光園  
あさい ひろみ  
**浅井 博美さん**  
(九〇歳)

群馬県草津町で生まれ、雪とともに過ごされた幼少期、今は比べものにならない降雪量に、スキー板を履いて通学されたこともありまし

た。浅井さんは、小学五年生の頃から学校の先生になりたいと思い始めました。勉学に励み、夢を叶え、小学校の教員を三八年務められました。

その頃の一番の思い出は、新潟での臨海学校だそうです。子どもたちと一緒に眺めた日本海の夕日が、とても大きく見えたことに感激し、群馬では経験できないこととして印象に残っていると笑顔で語られました。教師としての信念は「本人も気づいていない、その子の良さを引き出し、気づかせ、自信を持たせる」ということでした。うまくいく日もあれば、学びの多い日もあったそうですが、今でも毎年年賀状をくれる教え子もいるそうです。その子を受け持った当初は、内気な性格で特に気に掛かる子でしたが、次第に笑顔も増えて、安心して次の学年に送り出すことができたとのこと。今

では二人の孫を持つおじいちゃんとなり、全く想像がつかないと目を細めます。大変だったことは仕事と家庭の両立。どちらも大切にされながら「信念と情熱で乗り切った」と仰います。

教員退職後は、趣味の歌うことや踊ることを生かし、安中市内の公民館からの依頼で、創作ダンスの講師を八〇歳まで務められました。

八十一歳の時、ご主人とご長男が相次ぎお亡くなりになり、三年間毎日供養に努められました。そんな折、ご自身の将来を考え春光園への入居を決断されます。座右の銘は「人に迷惑をかけないようにする」ですが、今はそれが崩れてきているとのこと。心苦しい部分もあるけれど職員の方々に支えられ、榛名春光園での生活はご自身にとつての「人生の休憩場所」になっていると仰います。ここでの生活があるから元気に九〇歳を迎えられたとつこり。「いい加減なことはやりたくない」と物事に対する真摯な姿勢がにじみ出る言葉を大切に、生活をサポートしていただろうと思います。

浅井さんの幸せは、家族や友人、後輩、榛名春光園の職員に囲まれ生活できることだそうです。今でも「若い人から学ぶことが沢山ある」とのこと。世代を超え親しまれる誠実な人柄が、榛名春光園をこれからは華やかに照らしてくれることでしょう。

# ひとの和



高崎市市民後見人  
ほさか  
**保坂 かおるさん**

エンジェルホームの居住者Oさんは、元エンジェルホームのケアワーカー。そのOさんを市民後見人として支えてくれているのが、保坂かおるさんである。

エンジェルホームに定期的に面会に訪れ、Oさんが入院となれば、すぐに病院に駆けつけ、本当の家族以上でOさんに関わり、身近な立場で支援をしている。「困難な状況の人を助きたい、という思いから始めたのですが、大変なことも多くて責任は重いです。」と言う保坂さん。

『市民後見人』という社会貢献があることを知ったのは、今から十年ほど前の新聞記事。市民後見人とは、認知症などによって判断能力が不十分になった方に、一般市民の中から裁判所が選任した後見人のことで、高崎市でも養成講座が行なわれることを広報で知り、すぐに応募。

半年間の講義を受け、『NPO法人市民後見プラザぐんま』に所属し、

高崎市からの要請で、初めて引き受けたのがOさんである。

しかし、後見人になってみると、十分な意思疎通ができないOさんが何を望み、Oさんのために何ができるのか戸惑う日々が続く。NPOの研修会では、他の市民後見人と互いの悩みを相談しあったりしているが、その人がどういう人生を歩んできたのか、どんな最期を迎えたいのかは分からず、悩みは尽きない。

Oさんが長期入院した際には、医師から、ホームに戻るのではなく、このまま病院にいたほうがいいのでは、との提案を受けたが、「元職場でもあるホームで、慣れ親しんだスタッフに囲まれて過ごしたい」とOさんの気持ちを押し量り、エンジェルホームに戻る選択をした。

「入院中は辛い治療に顔をしかめることが多かったが、退院後、手厚いケアを受け、穏やかな表情に戻ったOさんに会えるのが嬉しい。安堵と感謝でいっぱいです。」と言う。

エンジェルホームとしても、これからのOさんの残りの人生を保坂さんと共に支えていきたい。

文 芸

梅香ギャラリー

絵画教室  
作品展



花束 (高橋幸江)



良き時代の米国  
モニュメントバレー  
(豊永清)



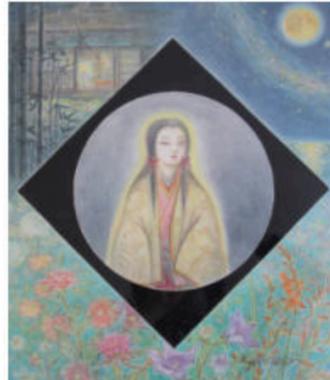
リンゴとブドウ (顧問 渡辺香代子)



新潟魚沼の秋 (小幡正昭)



八海山と魚野川 (小幡正昭)



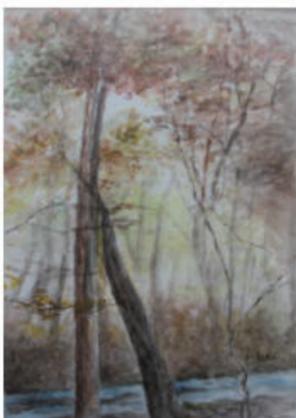
竹取物語 (顧問 渡辺香代子)



青海島 (五味英子)



開港記念会館 (高橋幸江)



秋光輝 (五味英子)



西伊豆の海 (小幡正昭)



良き時代の米国  
ゴールデンゲートブリッジ  
(豊永清)



さといも (五味英子)



アフガニスタンの少女  
(高橋幸江)

詩 歌

転倒し救急車にて運ばれる  
熊さんよ人を襲うの止めてくれ  
馬年は飛躍の時と決意する  
息子から小遣い貰い貯金する  
長電話何時になったら終わるのよ

オーサム

静寂それぞれ  
静かさを深める若葉のそよぎかな  
蝉の声の溶けて静けし夏の空  
うづくまる木影静けき秋の朝  
枯枝のそよとも動かぬ冬の朝

笠井 昭次



ケアに生きる  
(159回)  
法人本部  
財務部財務経理課  
鈴木 昌子

ご縁があり新生会へ入職して早二三年が過ぎました。就任当初は福祉・介護について全く知識がなく不安でしたが、先輩方にご指導いただき、事業企画部・総務部・財務部と事務部門の様々な部署で働きながら新生会への理解を深めてきま

感謝しています。

現在所属している財務部では経理係として、主に出納・仕訳の入力・利用料の請求・財務諸表の作成を業務としています。数字や書類を扱う地道な業務ですが、一つ一つの処理に責任を持つことが、新生会全体の信頼につながる重要な仕事と感じ、正確に慎重に取り組みよう心がけています。また、正確さが求められるからこそ、仲間との協力や確認作業を大切にしていきます。

した。部署が変わるたびに求められる役割や視点も変わりましたが、その一つ一つの経験が今の業務に生きていると感じています。途中二度の産休・育休を取得し子育てと仕事を両立させられたのも周りの皆様のご理解・サポートのおかげと

居住者の皆さまと直接関わる機会は多くありませんが、宿直業務などで温かい言葉をいただくこともあり、励みになっています。日々の業務の先に皆さまの安心した暮らしがあることを忘れず、これからも誠実に仕事に向き合っていきたいと思えます。

鈴木 桂子

山間の星影さやかクリスマス  
晴れわたる彼方に雪の浅間山  
上野介の深きまなざし落ち椿

マリヤ シュガー

ようやくに解けたパズルに花マルし  
秋の夜長の しめくりりとす  
朝早く庭の手入れに励む人  
天使に見えて 拝みたくなり  
御巢鷹の祈る手模した慰霊塔  
指先届け 天の国まで

福田 絃晴

小春とて年年きつしや散歩坂  
冬晴れの関東眺むか舞う鳶も

新生日誌

（10月）

1日 誠の園高崎市による運営指導  
 穂和の園高崎市による運営指導並びに立入り検査  
 梅香ハイツバルナバ館・榛名春光園高崎市による運営指導  
 新生会祭第1回責任者会議  
 道路愛護  
 3日 高齢者ケア専門研修 新任介護職員研修（特別養護老人ホーム明風園 1名参加）  
 9日 榛名春光園高崎市保健所による給食施設巡回指導  
 10日 はるな自然体験クラブ お散歩自然観察会 午前の部…6名参加  
 16日 午後部の部…6名参加はるな自然体験クラブ お散歩自然観察会 午前の部…7名参加職員採用試験  
 17日 日本聖公会社会福祉連盟東西合同幹事会（日本聖公会管区事務所 2名出席）  
 20日 新潟大学実習 6名受入れ  
 24日 はるな自然体験クラブ お散歩自然観察会 午前の部…6名参加  
 28日 午後部の部…3名参加はるな自然体験クラブ お散歩自然観察会 午前の部…2名参加  
 参加 午後の部…2名参加  
 3日 第48回新生会祭  
 6日 はるな自然体験クラブ お散歩自然観察会 午前の部…8名参加  
 11日 令和7年給食従事者研修会（高

12日 崎市総合保健センター 1名参加  
 はるな自然体験クラブ お散歩自然観察会 午前の部…5名参加  
 午後部の部…1名参加  
 合同慰霊祭  
 14日 梅香ハイツ高崎市による立入り検査  
 19日 はるな自然体験クラブ お出かけ自然体験 上野村慰霊の園・神流町恐竜センター・冬桜山公園 15名参加  
 26日 カシナガキクイムシ対策講義  
 28日 はるな自然体験クラブ お出かけ自然体験 上野村慰霊の園・神流町恐竜センター・冬桜山公園 15名参加

（12月）

3日 はるな自然体験クラブ お散歩自然観察会 午前の部…3名参加  
 午後部の部…1名参加  
 4日 交流会in九州・沖縄（福岡）（ホテルニュープラザ久留米 1名参加）  
 9日 フィリアほほえみ、フィリア、

10日 榛名憩の園高崎市による運営指導  
 エンジェルホーム高崎市による運営指導  
 新生の園、恵泉園高崎市による運営指導並びに立入り検査  
 フィリアいこい、高齢者あんしんセンター新生会運営指導  
 10日 はるな自然体験クラブ お散歩自然観察会 午前の部…3名参加  
 午後部の部…1名参加  
 14日 21・老福連第23回職員研究交流会in愛知（ロワジールホテル豊橋 5名参加）  
 16日 はるな自然体験クラブ お散歩自然観察会 午前の部…5名参加  
 午後部の部…4名参加  
 18日 群馬県老人福祉施設協議会主催令和七年度「知ってもらおう介護の仕事」事業（高崎市立榛名中学校3名訪問）  
 ジョージが丘クリスマス礼拝・祝会  
 22日 榛名春光園クリスマス祝会  
 桜が丘クリスマス礼拝・祝会  
 23日 玉川聖学院によるキャロリング

外聖席志援団

—新生会後援会便り—

昨年末に、新生会を支えてくださった方々へ感謝状をお送り致しました。皆様から温かいご支援をお寄せいただき、感謝申し上げます。新たな年を迎え、本年も皆様にご多幸がありますようお祈り致します。

HALCセンター建設のための特別募金累計  
 17,004,128円（2025年12月末日現在）

新生会後援会加入のご案内

- 個人会員 年間会費 1口 1,000円以上、毎年ご寄付して下さる方。
- 法人会員 年間会費 1口 10,000円以上、毎年ご寄付して下さる方。

募金の結果や使途につきましては小冊子「感謝録」にて毎年報告させていただきます。

寄付方法

郵便局からの振込み 振込口座 00160-6-48594  
 加入者名 新生会後援会  
 銀行からの振込み 群馬銀行室田支店普通預金 0075469  
 名義 新生会後援会会長 中澤宏則

所得税等の減免手続きをご希望の方は、ご寄付くださる際にその旨を申し出てください。社会福祉法人新生会より寄付金領収書をお送り致します。

ホームページ <http://www.sinseikai.org/>  
 E-mail [human-office@sinseikai.org](mailto:human-office@sinseikai.org)

編集後記

昨年末、バルナバ館で開催された芸術発表会で居住者の方達による二重唱をお聞きしました。ホーソン作曲の「希望のささやき」です。

その透感のある歌声と曲調、奥深い歌詞の内容に心打たれました。「希望」という普遍的なテーマは、時代や状況を超えて困難に直面する人々への励ましとして受けとめられるのではないかと思います。

さて、二〇二六年が幕開けしました。今年は「丙午」。新たな世界的な秩序や新しい時代の始まりを意味する節目の年となるのだそうです。

新生会では時代を意識し新たな取り組みが進められています。培ってきた「愛と祈りの精神」を基とし、その理念を継承・実践しながら、希望の年となるよう努めていきたいと思えます。（山崎祐子）

表紙の写真

日の出く榛名ふれあい公園にて  
 榛名春光園 松村康さん撮影

新生 第48巻 冬号  
 発行日 令和八年一月二〇日  
 編集兼 社会福祉法人新生会  
 発行人 原慶子  
 〒370-3347 群馬県高崎市  
 中室田町五九八三  
 電話 〇二七(三七四)一五一